

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 栗林製作所					
代表者名	氏名	吉満 高広	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県埴科郡坂城町南条4860					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	25 はん用機械器具製造業				
主たる事業の概要	玉軸受・ころ軸受製造業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	6,109	5,925	5,098	5,755	4,922
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	11,422	11,079	9,530	10,809	9,166
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0
自動車の台数	台	8	8	8	8	8
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	9	9	5	8	9

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

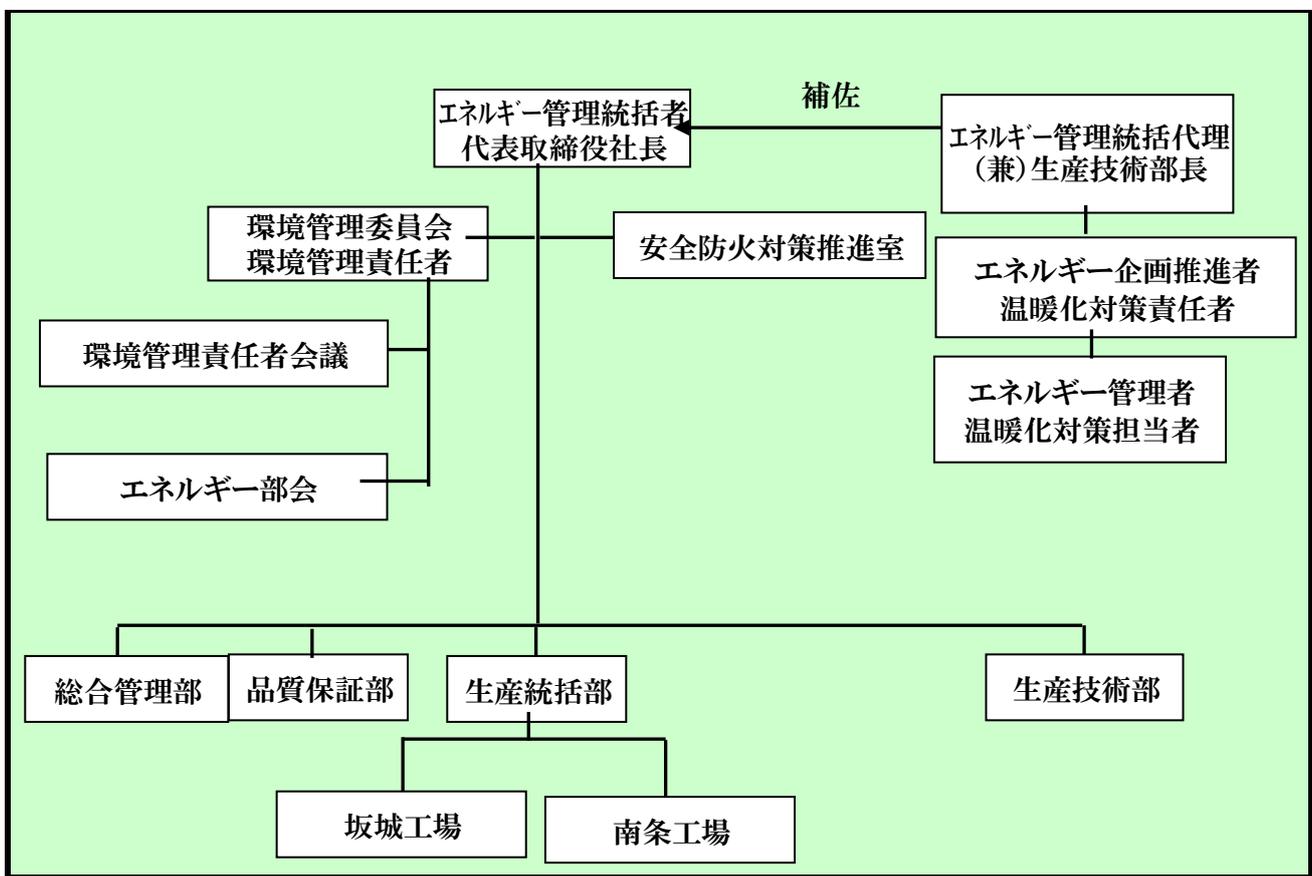
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	栗林製作所 総合管理部 AM9:00～PM4:00 TEL:0268-82-3150
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

・ISO14001環境マネジメントシステムにおける省エネ活動  
・省エネ法遵守

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

エネルギー部会 (年2回開催)

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	11,422	t-CO <sub>2</sub>	生産投入重量	25.63	単位	千t
2019年度	調整後排出量	11,422	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	445.65	t-CO <sub>2</sub> /	千t
目標年度	目標排出量	11,079	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	432.28	t-CO <sub>2</sub> /	千t
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	省エネ法に合わせ、年平均1%の削減目標を設定した						
第一年度	排出量	9,530	t-CO <sub>2</sub>	生産投入重量	20.86	単位	千t
	削減率	16.56	%	原単位	456.86	t-CO <sub>2</sub> /	千t
2020年度	調整後排出量	9,530	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-2.52	%	
	削減率	16.56	%				
排出量等の増減理由	コロナ感染の影響で生産量が18.6%減少したことにより、排出量が減少した						
第二年度	排出量	10,809	t-CO <sub>2</sub>	生産投入重量	22.44	単位	千t
	削減率	5.36	%	原単位	481.68	t-CO <sub>2</sub> /	千t
2021年度	調整後排出量	10,809	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-8.09	%	
	削減率	5.36	%				
排出量等の増減理由	コロナ感染及び半導体調達不足の影響で生産量が12.4%減少したことにより、排出量が減少した						
第三年度	排出量	9,166	t-CO <sub>2</sub>	生産投入重量	18.99	単位	千t
	削減率	19.75	t-CO <sub>2</sub>	原単位	482.68	t-CO <sub>2</sub> /	千t
2022年度	調整後排出量	6,463	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-8.31	%	
	削減率	43.41	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	半導体調達不足の影響で生産量が25.9%減少したことにより、排出量が減少した						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	目標削減率	#DIV/0!	%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	9	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量	9	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率	0.00	%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	5	t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率	44.44	%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	8	t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率	11.11	%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	9	t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率	0.00	%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	380752	K1棟天井水銀灯LED化	2021～2022	92	2022	23
2	エネ起	360703	塑性工程コンプレッサー停止 (37kW 1台)	2020	97	2020	97
3	エネ起	360701	塑性工程送水ポンプ休日停止 (冬季は対象外)	2020	134	2020	134
4	エネ起	380752	K1棟蛍光灯LED化 (250台)	2020～2022	3	2022	1
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	10,881	1	9,147	1	10,396	1	8,873
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	541	1	383	1	413	1	293
合計	2	11,422	2	9,530	2	10,809	2	9,166

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0			
CH <sub>4</sub>	0			
N <sub>2</sub> O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF <sub>6</sub>	0			
NF <sub>3</sub>	0			
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	1
合計	1	1	1	1
自動車総数	8	8	8	8
次世代車導入割合	12.5	12.5	12.5	12.5

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	交代制勤務の関係で公共交通機関依存が難しいため、実施なし
自転車の利用促進	通勤用の自転車置場設置
来客者の交通対策	工場がテクノさかき駅に近いので、電車利用を推奨している
物流の合理化	トラック積載率90%以上を目標で、現在達成している。又 倉庫、配送センター設置場所の合理化を実施

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2003年3月
	名称	ISO14001環境マネジメントシステム	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	「上水道の使用量、地下水汲み上げ量、産業廃棄物の削減」		2020年度

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ K1-1棟天井照明 水銀灯26台→LED28台 実施済み (K1-1棟約60%水銀灯LED化実施済み)</li> <li>・ 南条工場コンプレッサーインバーター化実施済み (75kWコンプレッサー)</li> <li>・ K1棟蛍光灯LED化(250台)は半導体不足影響でLED納品遅れの為一部未実施</li> </ul>
--